



## 2学期が終了。御支援をありがとうございました！

本日、無事に2学期の終業式を迎えることができました。今朝は何人かの子供が氷をもって登校してきました。そんな厳しい寒さの中でしたが、ガードボランティアの皆様は、いつもどおり子供たちを学校まで送り届けてくださっていました。2学期最終日を迎え、ボランティアの皆様への感謝の気持ちがわき上がってきました。できるかぎりボランティアさんお一人お一人にお礼を伝えましたが、伝えきれなかったという思いも残りました。ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。



終業式は、今年度初めて全学年の児童と教員が体育館に参集するかたちで行いました。子供たちの入退場時には6年生がピアノを演奏し、式典にふさわしい厳かな雰囲気を会場につくってくれました。

式では、全校で初めて校歌を歌うこともできました。コロナ禍以前は当たり前だった光景がようやく戻ってきたという気がします。

「2学期を振り返って」の意見発表は、2年生、4年生、6年生の代表児童が行いました。350人以上の人の前での発表でしたが、3人とも堂々としていました。2学期に自分ががんばったことや成長したこと、3学期にがんばりたいことを自分の言葉で発表しました。「がんばってよ



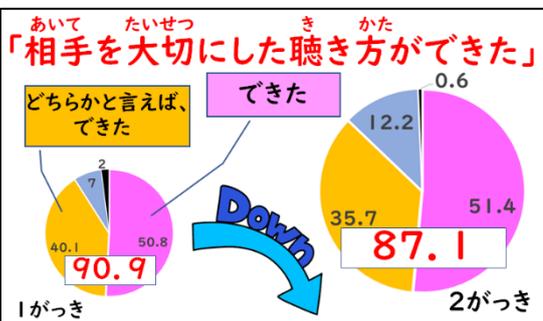
ピアノ演奏をした6年生

かった」「お手本になれるようにしたい」「あいさつを東小の文化にしたい」「成長した」スピーチを聞いていると代表の子供の気持ちがしっかりと心に伝わってきました。

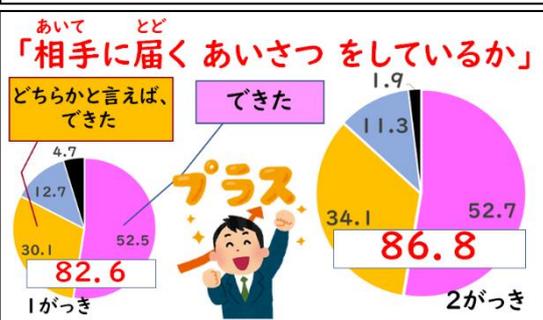
校長先生からは、子供たちが回答した学校生活アンケートの結果から、2学期を振り返るお話がありました。



意見発表を行った(左から)2年生、4年生、6年生



「相手を大切にしたい」については、「できた」「どちらかと言えば、できた」と答えた子供の割合は若干下がっていました。しかし、普段の子供たちの様子を見ていると、以前より話す人の方へ体を向けて黙って聞くことができるクラスや人が増えたように感じます。職員に行ったアンケートでも、数値は1学期よりも向上していました。



「相手に届くあいさつ」については、「できた」「どちらかと言えば、できた」と回答する子供たちの割合が増加しました。子供たちの自己評価が上がっているとおりに、子供たちと接していても「あいさつがよくなったなあ」と感じます。あいさつができる子が増えたのも事実ですが、それ以上にしっかり目を合わせてあいさつする子、頭を下げあいさつする子が明らかに

増えてきました。あいさつの質が向上してきたと思います。

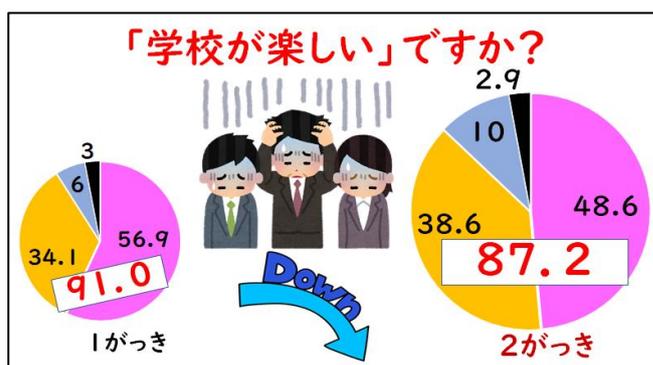
本校では、「魅力ある学校づくり」に取り組んでいます。そのため、「学校が楽しい」という質問に対する子供たちの回答には高い関心をもっています。残念ながら、2学期は1学期よりも数値としては下がってしまいました。

「なぜ?」「どうすれば?」という疑問が浮かぶ中、3年生から6年生の子供たちに学校が「楽しい」「楽しくない」と答えた理由を追加アンケートで尋ねました。子供たちには文章で回答してもらい、終業式では、それをAIで分析したものを紹介しました。

学校が楽しいと感じている多くの子供たちが、「優しい友だちや仲間の存在」、「勉強が分かること」や「真剣に学ぶこと」を要因として挙げています。

学校が楽しくないと回答した子供たちの多くも「授業や勉強」を要因として挙げています。そして、当然のことですが、「いじめやいじわる、差別」も子供たちに「学校が楽しくない」と感じさせる大きな要因になっていることがはっきりと分かりました。

終業式で、子供たちと課題を共有しました。「授業がよく分かるよう相手を大切にしてください」「温かな人間関係につながる相手に届くあいさつをしよう」「いじめ・いじわるを許さない人になろう、学校にしよう」と訴え、今年度の重点目標達成に向けて3学期も一緒にがんばりましょうと伝えました。そして、「冬休みも自分も相手も大切にしてください。」と、校長先生はお話をしめくくりました。友達の意見発表や校長先生のお話を集中して聞くことができました。一体感のあるすばらしい終業式になりました。



## 黄色い帽子のきまりを変更します・・・

今月11日(月)と12日(火)、代表児童と代表職員とで、通学用帽子のきまりをどうするのがよいのか、話し合いをしました。代表児童は、来年度から学校のリーダーとなる5年生とし、22人の子供が話し合いへの参加を申し出ました。職員の代表は生徒指導担当職員と校長、子供たちを11人ずつの2グループに分けて話し合いました。



普段帽子をかぶっていない子供も数人代表児童として参加しました。帽子をかぶりにくい子供たちの気持ちや意見も直接聞くことができました。

グループごと「3年生までは黄色い帽子で、4年生以上は自由にしてもよいというルールに変更する。」という方向と、「黄色い帽子のルールは変えない方がよい。」という方向に話し合いが進んでいきました。

この話し合いで出された意見と代表児童の様子を全職員と共有した後、学校として、以下のきまりに変更するという結論を出しました。

登下校時は、黄色いぼうし、またはヘルメットを着用する。安全上、黄色いぼうしが望ましいが、4年生以上については黄色い帽子以外の帽子の着用も認める。

本日、終業式後に子供たちにこの新しいきまりと3学期から試行することを説明しました。学校として大切にしたいのは、「子供たちの安全」と「きまりを守る意識」です。4年生以上には、黄色い帽子以外の帽子の着用も認めますが、おしゃれやファッションのための変更ではありません。4年生としたのは、本校児童の交通事故発生状況、帽子の劣化や発達段階を考慮しての判断です。3学期からは**全ての子供が帽子またはヘルメットをかぶって登校することができるよう御家庭でもお子さんへの声掛けをお願いします。**